放送 LAN について

2008/09/17
故郷振興事業研究会

放送 LAN とは

放送とインターネットを結合してできる情報交換網です。インターネットは本来一対一の通信網であり同報機能はありません。他方放送は同報機能に優れていますが双方向の通信機能はありません。そこで放送局にサーバを設置しインターネットと放送網を結合すれば双方向通信機能を備えた放送網あるいは放送機能を備えたインターネットに相当する新たな情報交換網を容易に構築する事ができます。

放送 LAN の模式図を下に示します。典型的な応用は地域会議です。発言者はインターネットを通じて発言権を与えられ、発言内容はインターネット(もしくは電話など)を通じて放送局の会議サーバに送られそこから放送網で同報されます。その放送を聴いている人全員に発言者の声が届きます。参加者の発信信号が届く範囲の通信網を Local Area Network (LAN)と呼びますのでここで提案する情報交換網を放送 LAN と呼んでいます。地域放送を用いた地域放送 LAN(LB-LAN)や CS 放送や BS 放送を用いた直接衛星放送 LAN(DS-LAN)が考えられます。

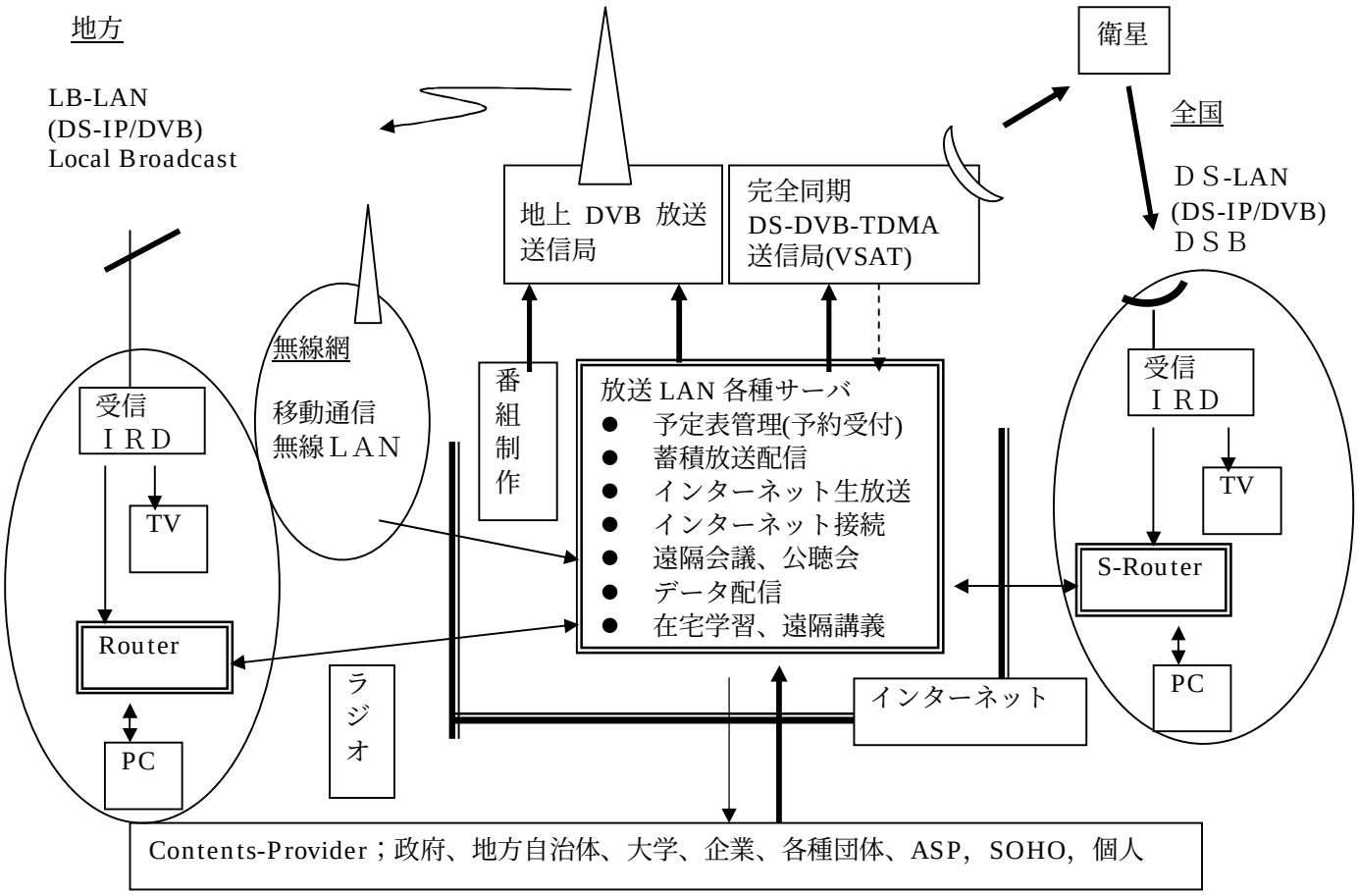
地域内の情報交換と全国向け発信

地域放送局に完全直接衛星放送設備を設置すれば上述の地域内通信を一挙に全国規模に拡大する事が可能です。完全直接衛星放送とは全国何処からでも直接通信衛星に発信して全国に CS 放送を行う事ができる放送網です。これによって現在東京に一極集中している発信局を全国に拡張する事ができます。送信も受信も直接衛星に対して行いますので完全直接衛星放送(Perfect DSB)と呼んでいます。

地域の地場産業振興に有効

地域振興のためには地域内の情報交換を盛んにする事と同時に地域の外の全国に向けた情報発信を行うことが必要だと思います。インターネットによる発信はインターネットが巨大過ぎるため却って効率がよくない一面もあります。その点地域放送は各地域では数少ないチャネルであり効果的です。全国向け CS 放送も多チャネルと言ってもせいぜい 200ch 以下ですし、種類別に分類するとほんの数チャネルですから広報効果は大だと思います。

システム構成



放送 LAN のシステム構成